



●やってみよう

「はるの市」では、近く市長選挙が行われます。交通事故増加への対策として、1人の候補者は交通量の多い通りの拡張を、もう1人の候補者は新たなバイパスの建設を主張しています。また高齢化にともない、市民病院をどこに建設するかも議論されています。2人の候補者のうち、あなたならどちらに投票しますか。理由もあわせて考えてみましょう。

資料

「まち並み通り」で起きた交通事故件数  
…年間 10 件  
観光客数  
…「まち並み通り」：年間 30,000 人  
「はるの池自然公園」：年間 75,000 人

資料

「はるの市」の人口  
…100,000 人(うち 65 歳以上の人口 32,000 人)  
市役所から病院までのアクセス  
…川の対岸の高台：徒歩 90 分、車 10 分  
「若葉通り」のあき地：徒歩 15 分

## A 「道路の拡張」か「まち並みの保全」か



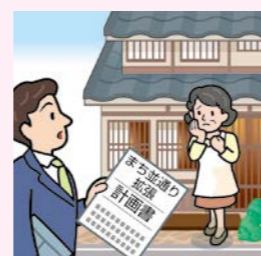
みち道ひろよ候補

私は「まち並み通り」を拡張して交通事故を防ぎたいと考えます。バイパスを建設すると、「はるの池自然公園」の美しい自然環境がこわされてしまいます。



あきち空地タテオ候補

私はバイパスを建設して交通事故を防ぎたいと考えます。「まち並み通り」を拡張すると、通りに残る伝統的なまち並みがこわされてしまいます。



## B 病院建設は「郊外」か「市街地」か



みち道ひろよ候補

私は川の対岸の高台(①)に建設すべきだと考えます。面積が広いので、ベッド数も多く、設備も充実した病院をつくることができます。



あきち空地タテオ候補

私は「若葉通り」のあき地(②)に建設すべきだと考えます。市街地から近いので、車を運転できない高齢者にも便利です。



# 新学習指導要領対応 あなたならどちらに投票しますか？

出典 平成31年発行 帝国書院『社会科 中学生の公民』（公民-932） p.30-31 「学習の前に」より

## ■このページのねらい

このページは、身近な暮らしのなかにある問題に目を向けさせることで、政治への関心を高め、政治参加につなげることをねらいとしている。イラストは、架空のまちである「はるの市」がかかえるさまざまな政治的課題を示している。「やってみよう」では、交通事故への対策と市民病院建設を争点として、2人の市長選候補者がそれぞれの意見を主張している。どちらの候補者に投票するかを考えさせることを通して、私たちの暮らしが政治と深く関わっていることを実感させ、暮らしを良くする政治のあり方を考えさせる。

## ■授業展開例

※レイアウト中の①～④は、下記の見出しに対応しています。

### ① 「はるの市」の特色あるまちづくりを把握する

「はるの市」の中心部には「まち並み通り」があり、**歴史的な建造物**が保存されている。また「はるの池自然公園」のある川沿いには**豊かな自然**が残り、人々の憩いの場となっていることが読み取れる。

### ② 「はるの市」の問題点を探す

「まち並み通り」の近くには「ここぐま保育園」と「桜川小学校」がある。多くの児童が通り沿いを歩いているが、せまい道路に自動車が通行しており、**交通事故の危険性が高い**ことが読み取れる。この他にも、交通に関して、**桜野通りが渋滞**しているという問題点をあげることができる。こうしたまちの問題点を解決するためにも、住民参加が重要になる。

### ③投票する候補者を考える ～「道路の拡張」か「まち並みの保全」か～

道ひろよ候補を支持	空地タテオ候補を支持
交通事故への対策のために、どちらかの景観を犠牲にしなければならぬしたら、 <b>より観光客の少ない「まち並み通り」を拡張するのは「効率」の考え方</b> にかなっている。また、バイパスがまちを迂回しているのに対し、「まち並み通り」は直線なので、 <b>渋滞解消の面でも「効率」の考え方</b> にかなっている。	「まち並み通り」の拡張では多くの住民の立ち退きが必要になることから、バイパス建設の方が <b>財産権の保障という面</b> で「公正」の <b>考え方</b> にかなっている。またバイパス建設は、住民の立ち退きの必要が少なく、公園も市営なので、工事が進めやすい。 <b>時間の無駄が少ない</b> という点でバイパスを建設するのは「効率」の <b>考え方</b> にかなっている。

### ④投票する候補者を考える ～病院建設は「郊外」か「市街地」か～

道ひろよ候補を支持	空地タテオ候補を支持
郊外に施設の充実した病院を建設することは、 <b>多くの人</b> が <b>充実した医療を受ける機会を得られる</b> という意味で「公正」の <b>考え方</b> にかなっている。また、市街地よりも郊外の方が地価が安いことが多いため、 <b>土地取得の費用面</b> で「効率」の <b>考え方</b> にかなっている。	車を運転できない高齢者にとっては、郊外への交通手段がバスやタクシーなどしかなく、利用しにくいことから、 <b>市街地で誰でも利用しやすいことは「公正」の考え方</b> にかなっている。また、市民病院は赤字経営のところが多く、建設費や運営費がかさむことから、 <b>市街地にコンパクトな病院をつくって費用を削減するのは「効率」の考え方</b> にかなっている。

## ■指導上の留意点

投票する候補者を選ぶ場合、テーマによって支持する候補者が違うことがあるかもしれない。しかし、選挙ではどちらか1人の候補者にしぼって投票しなければならない。その場合は「交通事故への対策」「市民病院の建設」などに**優先順位**をつけて考えさせ、どの候補者に投票するかを意思決定させたい。そのことは経済単元で学習する「**選択**」の考え方にもつながっている。なお、最終的にどちらの候補者に投票するかを考えさせるにあたり、例えば「バイパスを建設して、病院を郊外に建設するという候補者はいないから、自分が立候補しよう」というように、**自分自身の参加**という考えが出てきてもおもしろい。

## ■評価のポイント

**A基準**：投票する候補者を選択し、その候補者に投票を決めた理由を、暮らしやすいまちづくりの観点から、「効率」「公正」の見方・考え方をういて多面的・多角的に説明している。

**B基準**：投票する候補者を選択し、その候補者に投票を決めた理由を、大多数の住民にとって暮らしやすいまちづくりという観点から説明している。

## ★新学習指導要領を先取りした「学習の前に」の活用

新学習指導要領（平成 29 年告示）において重視されている「**主体的・対話的で深い学び**」は、現行の学習指導要領（平成 20 年告示）に基づく本書（平成 31 年発行 帝国書院『社会科 中学生の公民』（公民-932））でも**先取りが可能**である。

	新学習指導要領解説の文言※	「学習の前に」での活用例
「主体的な学び」の視点	主体的な学びについては、児童生徒が学習課題を把握しその解決への <b>見通し</b> を持つことが必要である。そのためには、単元等を通した <b>学習過程の中で動機付けや方向付けを重視</b> するとともに、学習内容・活動に応じた <b>振り返り</b> の場面を設定し、児童生徒の表現を促すようにすることなどが重要である。	・第2部「政治」分野の導入として活用することで、私たちの暮らしと政治が深くかかわっていることを実感し、学習の <b>見通し</b> を持つことができる。 ・一般ページにおいても、「学習の前に」に関連する内容の本文行間に赤文字で参照を示し、 <b>学習過程の中で随時確認</b> できる。（図 p.32 本文 9 行目など） ・章の最後に「「学習の前に」をふりかえろう」のコーナーを設け、 <b>振り返り</b> の場面でも活用できる（図 p.59, 87, 102）。
「対話的な学び」の視点	対話的な学びについては、例えば、実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、 <b>実社会の人々の話を聞いたりする活動</b> の一層の充実が期待される。	・道路の拡張と病院建設に関し、「道ひろよ候補」と「空地タテオ候補」それぞれの主張を取り上げ、 <b>人々の話を聞く活動を疑似体験</b> できる。
「深い学び」の視点	深い学びの実現のためには、「 <b>社会的な見方・考え方</b> 」を用いた考察、構想や、説明、議論等の学習活動が組み込まれた、課題を追究したり解決したりする活動が不可欠である。	・二人の候補の意見の対立を示すことで、 <b>図 p.22-25</b> で学習した「 <b>対立と合意</b> 」「 <b>効率と公正</b> 」の <b>見方・考え方</b> をふまえて、よりよい問題解決のためのあり方を自分なりに考察することができる。

※〈中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 社会編 第1章2(2) ④「学習指導の改善充実等」（p.14-15）より